

日本ITU協会 研究会開催一覧 (2022年1月～2022年3月)

ITU-R研究会	テーマ	概要	講師
第393回 2022年2月8日	Beyond 5G/6Gの研究開発動向と実用化に向けた取組み	我が国でも5Gの商用サービスが2020年3月に開始されましたが、世界中では早くもその次の世代の通信システム（Beyond 5G/6G）の実用化に向けた議論がスタートしています。 本講演では、2030年頃と想定されるBeyond 5G/6G技術の実用化に向けて、ITUや3GPP、O-RAN Alliance等の各標準化団体の動向や、それを取り巻く最先端技術の研究開発動向について概説します。	KDDI総合研究所 無線通信方式グループ 山崎 浩輔氏
ITU-T研究会	テーマ	概要	講師
第552回 2022年2月3日	カーボンニュートラル、安全な電波利用の実現に向けた国際標準化動向	新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大により、外出が自粛・制限される中で、人々の行動が変化し、情報通信技術（ICT）の利用方法も大きく変化しています。例えば、テレワークの推奨によって、商談や意思決定会議もリモートで行われるようになり、医療や教育の分野では、密を避けるための遠隔医療や遠隔授業の導入が加速しました。このような行動変容は、二酸化炭素排出に関連の深いエネルギー消費にも大きな変化をもたらし、移動・輸送手段におけるエネルギー消費が減少した代わりに、ICT部門におけるエネルギー消費が大幅に増える結果となっています。また、5Gサービスが開始され、ICTを取り巻く電磁環境や電波利用も大きく変化しました。 本講演では、気候変動や電磁環境に対するICTの関わり方がより重要性を増している中、この領域でITU-Tが取り組む国際標準化活動の動向について概説します。	日本電信電話株式会社 NTT宇宙環境エネルギー研究所 高谷 和宏氏
第553回 2022年2月25日	社会実装を目指したITU-T SG20での『スマートシティ標準化』最新動向	2015年に設立されたITU-T SG20では、IoT及びスマートシティ分野の標準化が議論されています。 ITU-T SG20では、通信プロトコル等の機器と機器をつなぐための国際標準ではなく、住民向けサービス等の形で社会実装されるシステムの国際標準についての議論が進められています。 本講演では、ITU-T SG20でのスマートシティ標準化の最新動向や今後の方向性を解説するとともに、スマートシティ標準の活用方法について紹介します。	日本電気株式会社 グローバルイノベーション戦略本部 標準化推進部 山田 徹氏
情報通信研究会	テーマ	概要	講師
第105回 2022年1月27日	CES（国際家電見本市）に見る米国ICT業界2022年の展望	2022年CES（Consumer Electronics Show：国際家電見本市）は、2年ぶりにラスベガスを舞台にリアルにて開催されます。同コンベンションは、多くの意味で注目を集めています。コロナ禍で広がる在宅勤務を受け、家電市場は大きな変化に直面し、5Gやエッジ・コンピューティング、AIなど企業ICTの環境も大きく変わろうとしています。 今回の講演ではCESを俯瞰しながら2022年の注目ポイントや業界の傾向を展望します。 キーワード：メタバース、AI家電、5Gデバイス販売、エッジ・コンピューティング、コロナに伴うICT業界対応など	ITジャーナリスト アリアル・イノベーション社 小池 良次氏

<p>第106回 2022年2月22日</p>	<p>ローカル5G普及への 貢献に向けたアンリツの 取組み</p>	<p>「高速大容量」「低遅延・高信頼」「多数同時接続」という5Gの特長を生かしながら、地域や産業のニーズに応じて利用できる通信基盤として、ローカル5Gへの期待が高まっています。ローカル5G活用に向けた実証実験が活発化する一方で、その普及には多くの課題もあります。</p> <p>本講演では、ローカル5Gの動向や普及の課題について概説するとともに、ローカル5Gの通信品質確保のために、ネットワークの設計、検証、保守の各フェーズにおいて求められる評価方法について説明します。また、ローカル5G市場に向けた技術開発やローカル5G導入の検討を支援する体験施設の開設や、免許申請やエリア評価において必要とされるシミュレーション及び測定サービスの提供など、ローカル5G普及への貢献に向けたアンリツの新たな取組みを紹介します。</p>	<p>アンリツ株式会社 環境計測カンパニー 徳家 努氏</p>
<p>第107回 2022年3月30日</p>	<p>「デジタル分野のグローバル ルール形成に向けて」 ～DFFT、AI原則、 インターネットガバナンス～</p>	<p>データ・AI時代を迎えた2016年、我が国はG7情報通信大臣会合を開催し、情報の自由な流通の促進とそれに伴う課題について議論するとともに、AI開発に関する国際的原則の議論を提唱しました。情報の自由な流通とその課題に関する議論は3年を経た2019年、大阪サミットにおける「信頼性のある自由なデータ流通（DFFT）」の理念となってG20の合意となり、いま様々な国際フォーラムでその推進が議論されています。</p> <p>AI原則の議論は同じ2019年にOECDにおけるAI勧告として国際的合意となり、同じG20大阪サミットで首脳によって支持されました。データとAIがイノベーションを通じて価値を生むデジタル経済を推進するため、2023年に我が国で開催されるG7や国連インターネットガバナンスフォーラム（IGF）を視野に入れ、今後の議論の進展を展望します。</p>	<p>総務省 国際戦略局 情報通信政策総合研究官 飯田 陽一氏</p>

ITUが注目しているホットピックス

ITUのホームページでは、その時々ホットピックスを“NEWS AND VIEWS”として掲載しています。まさに開催中の会合における合意事項、ITUが公開しているICT関連ツールキットの紹介等、旬なテーマを知ることができます。ぜひご覧ください。

<https://www.itu.int/en/Pages/default.aspx>